

太平洋北部沖合性カレイ類の広域資源管理

1 資源の現状

青森県から茨城県までの沖合海域で主に沖合底びき網漁業や小型機船底びき網漁業が利用している底魚類の一部については、資源が増加傾向にあるものの、その多くについては、依然として資源水準が低位であったり、減少傾向にある。

このことから、資源の減少や小型魚の漁獲割合の多いサメガレイ、ヤナギムシガレイ、キチジ、キアンコウを資源管理のための重要魚種と位置づけ、これら魚種の資源管理措置を実施することにより、青森県から茨城県までの太平洋北部沖合海域の底魚資源全体の底上げを図っていく必要がある

これら4魚種の資源水準と動向は、以下の通り。

①サメガレイ

資源水準は低位であり、資源動向は横ばい。

②キチジ

資源水準は中位であり、資源動向は増加。

③ヤナギムシガレイ

資源水準は高位であり、資源動向は増加。

④キアンコウ

資源水準は中位であり、資源動向は減少。

2 関係漁業種類

次の漁業種類すべての漁業者が資源管理に参加。

①サメガレイ、キチジ

沖合底びき網漁業（青森県太平洋地区、岩手県地区、宮城県地区、福島県地区、茨城県地区、千葉県地区）

小型機船底びき網漁業（青森県太平洋海域）

②ヤナギムシガレイ、キアンコウ

沖合底びき網漁業（宮城県地区、福島県地区、茨城県地区、千葉県地区）

小型機船底びき網漁業（茨城県、※福島県）

※福島県については、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、操業が休止していることから、県の資源管理指針に基づく資源管理計画は、まだ作成されていないが、県管理指針の漁業種類別資源管理には小型機船底びき網漁業に係る資源管理措置が記載されている。

3 資源管理の方向性（目標、期間等）

①サメガレイ、キチジ

サメガレイ資源は依然として資源水準が低位であること。キチジ資源は近年増加傾向ではあるが、若齢魚の資源尾数が減少していることから、主漁期に保護区を設定することにより親魚を保護し資源をさらに増加させることを目標とする。

また、設定する保護区では、サメガレイ、キチジのほかスケトウダラ、マダラ、イトヒキダラ等も漁獲されており、これら魚種に対する資源増大効果

もあわせて期待できる

②ヤナギムシガレイ、キアンコウ

ヤナギムシガレイ・キアンコウ資源については、資源水準が高位及び中位であるが、未成魚の漁獲割合が高いことから、保護区を設定することにより親魚量の維持に努め、あわせて漁具の改良により若齢魚を保護することにより、資源水準を維持することを目標とする。

また、これらの措置により、ヤナギムシガレイ、キアンコウのほかマダラ、カレイ類等に対する資源増大効果も合わせて期待できる。

4 資源管理措置

①資源回復計画以前から実施していた措置

措置	内 容	関係漁業種類	資源回復計画の下での取組との関係
漁 具	グランドロープチェーンの重量規制 タイヤグランドの使用禁止 複葉型オッターボードの使用禁止	沖合底びき網漁業 (茨城県地区)、 小型機船底びき網漁業 (茨城県)	そのまま継承
休漁日	月1日接岸休漁、年末・年始、 ゴールデンウィーク中に休漁を設定	沖合底びき網漁業 (岩手県地区)	そのまま継承
	地区ごとに設定	小型機船底びき網漁業 (茨城県、※福島県)	そのまま継承

②資源回復計画で実施した措置

対象魚種	措 置	内 容	関係漁業種類	資源回復計画の下での取組との関係
キサメ ジガレイ、	保護区の設定	主漁期に保護区を設定することにより親魚を保護	沖合底びき網漁業、 小型機船底びき網漁業 (青森県)	そのまま継承
	減船	資源状態を踏まえつつ必要に応じ適宜実施		そのまま継承
キヤ アンギム シガレイ、	保護区の設定	小型魚の多獲時期に保護区を設定することにより若齢魚を保護	沖合底びき網漁業、 小型機船底びき網漁業 (茨城県、※福島県)	そのまま継承
	減船	資源状態を踏まえつつ必要に応じ適宜実施		そのまま継承
	漁具の改良	若齢魚を保護	沖合底びき網漁業 (千葉県地区)	そのまま継承

注) 資源回復計画の下で行われていた資源管理の取組は、全て引き続き実施さ

れている。

※福島県については、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、操業が休止していることから、県の資源管理指針に基づく資源管理計画は、まだ作成されていないが、県管理指針の漁業種別資源管理における小型機船底びき網漁業には、当該資源管理措置が記載されている。

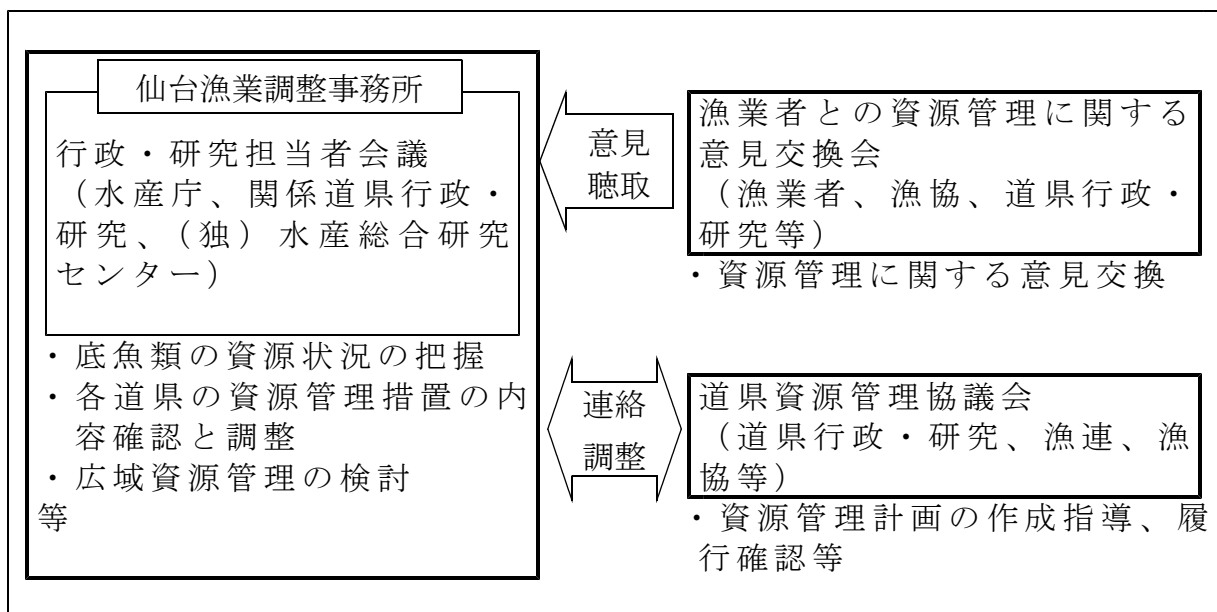
③ 漁獲努力量削減措置及びその効果に関する公的担保措置

上記漁獲努力量の削減措置の効果を実効あるものとするため、引き続き「海洋生物資源の保存及び管理に関する法律」に基づきT A Eを設定し、漁獲努力量の増加を抑制する。

対象魚種	海 域	期 間	関係漁業種類
サメガレイ	青森県沖合	5/1～6/30	沖合底びき網漁業
	岩手県沖合	3/1～4/30	沖合底びき網漁業
	宮城県沖合～茨城県沖合	2/1～3/31	沖合底びき網漁業
	青森県地先水面	5/1～6/30	小型機船底びき網漁
ヤナギムシガレイ	福島県沖合～茨城県沖合	4/1～6/30	沖合底びき網漁業
	福島県地先水面～茨城県地先水面	4/1～6/30	小型機船底びき網漁

5 関係者による連携を図るための体制

下図の行政・研究担当者会議及び漁業者漁業者との意見交換を定期的に行い、資源状況や漁獲状況について情報交換を行う。

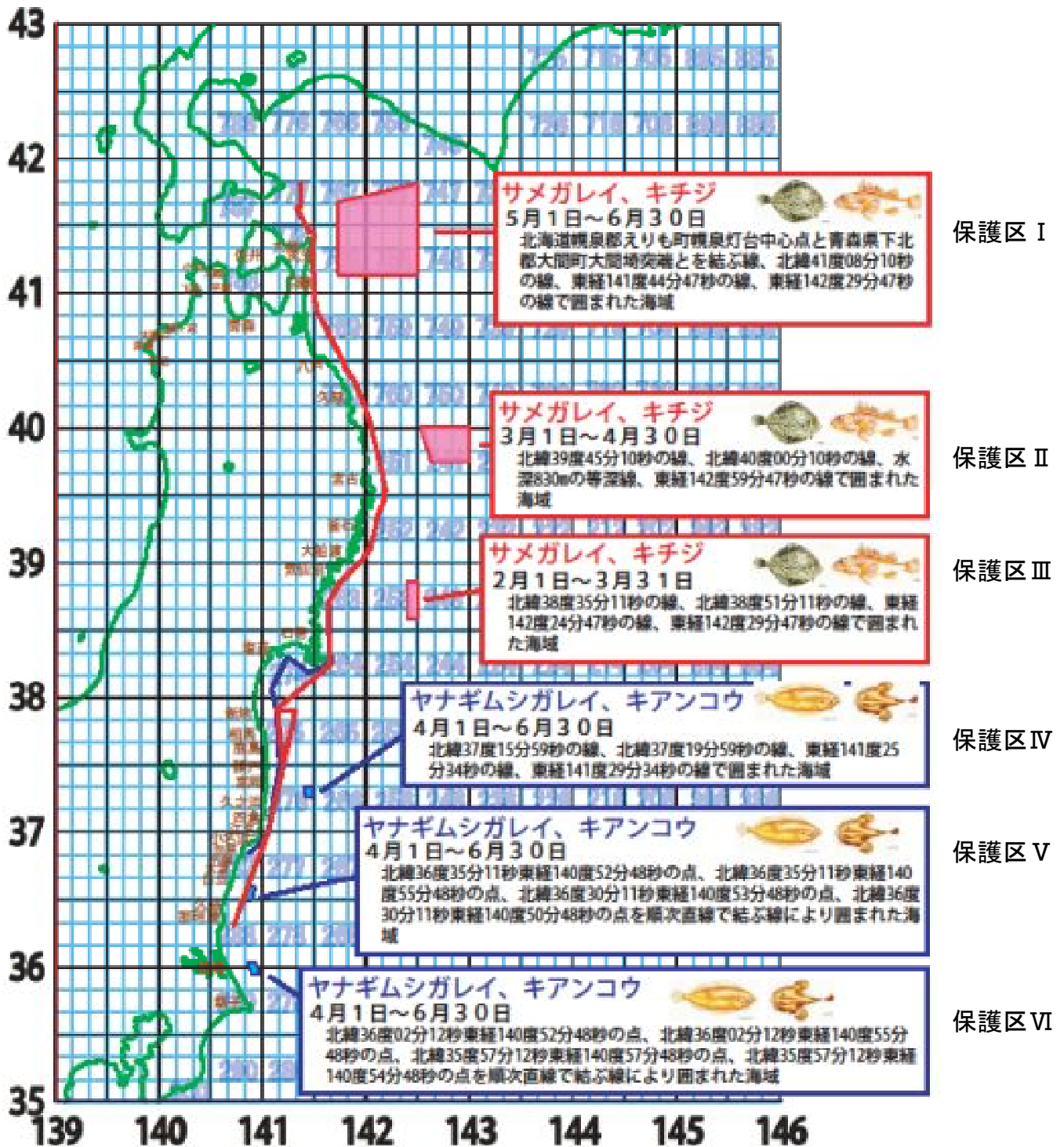


太平洋北部沖合性カレイ類の広域資源管理に基づく平成24年の取組状況

資源管理計画に基づく自主的管理措置	対象魚種	海域	期間	関係漁業種類	24年の実施状況
(回復計画として実施した措置)					
①保護区の設定	サメガレイ、キチジ	【保護区Ⅰ】北海道幌泉郡えりも町幌泉灯台中心点と青森県下北郡大間町大間埼突端とを結ぶ線、北緯41度08分10秒の線、東経141度44分47秒の線、東経142度29分47秒の線で囲まれた海域	5/1～6/30	沖合底びき網漁業、小型機船底びき網漁業(青森県)	左記の期間、海域に保護区を設定。
		【保護区Ⅱ】北緯39度45分10秒の線、北緯40度00分10秒の線、水深830mの等深線、東経142度59分47秒の線で囲まれた海域	3/1～4/30		
		【保護区Ⅲ】北緯38度35分11秒の線、北緯38度51分11秒の線、東経142度24分47秒の線、東経142度29分47秒の線で囲まれた海域	2/1～3/31 ※		
ヤナギムシガレイ、キアンコウ	ヤナギムシガレイ、キアンコウ	【保護区Ⅳ】北緯37度15分59秒の線、北緯37度19分59秒の線、東経141度25分34秒の線、東経141度29分34秒の線で囲まれた海域	4/1～6/30	沖合底びき網漁業、小型機船底びき網漁業(茨城県)	左記の期間、海域に保護区を設定。
		【保護区Ⅴ】北緯36度35分11秒東経140度52分48秒の点、北緯36度35分11秒、東経140度55分48秒の点、北緯36度30分11秒東経140度53分48秒の点、北緯36度30分11秒東経140度50分48秒の点を順次直線で結ぶ線により囲まれた海域			
		【保護区Ⅵ】北緯36度02分12秒東経140度52分48秒の点、北緯36度02分12秒東経140度55分48秒の点、北緯35度57分12秒東経140度57分48秒の点、北緯35度57分12秒東経140度54分48秒の点を順次直線で結ぶ線により囲まれた海域			
②漁具の改良	ヤナギムシガレイ、キアンコウ			沖合底びき網漁業(千葉県所属船)	平成17年度に資源回復等推進支援事業(漁具改良等支援事業)を活用して導入した改良網を継続使用(5隻)
(回復計画以前から実施していた措置)					
①漁具の制限	グランドロープチェーンの重量規制 タイヤグランドの使用禁止 複葉型オッターボードの使用禁止			沖合底びき網漁業(茨城県所属船) 小型機船底びき網漁業(茨城県)	禁止漁具を使用しない。
②休漁日の設定	月1日接岸休漁、年末・年始、ゴールデンウィーク中に休漁日を設定			沖合底びき網漁業(岩手県所属船)	左記期間休漁を行う。
	地区ごとに設定			小型機船底びき網漁業(茨城県)	地区ごとに休漁を行う。

漁獲努力量削減に関する公的担保措置	対象魚種	海域	期間	関係漁業種類	取組状況
T A E制度 (Total Allowable Effort) 「漁獲努力可能量」	サメガレイ	青森県沖合	5/1～6/30	沖合底びき網漁業	保護区の設定期間に合わせてT A E (漁獲努力可能量) の上限を設定した。
		岩手県沖合	3/1～4/30	沖合底びき網漁業	
		宮城県沖合～茨城県沖合	2/1～3/31	沖合底びき網漁業	
		青森県地先水面	5/1～6/30	小型機船底びき網漁業	
	ヤナギムシガレイ	福島県沖合～茨城県沖合	4/1～6/30	沖合底びき網漁業	
		福島県地先水面～茨城県地先水面	4/1～6/30	小型機船底びき網漁業	

太平洋北部沖合性カレイ類の広域資源管理における保護区の設定



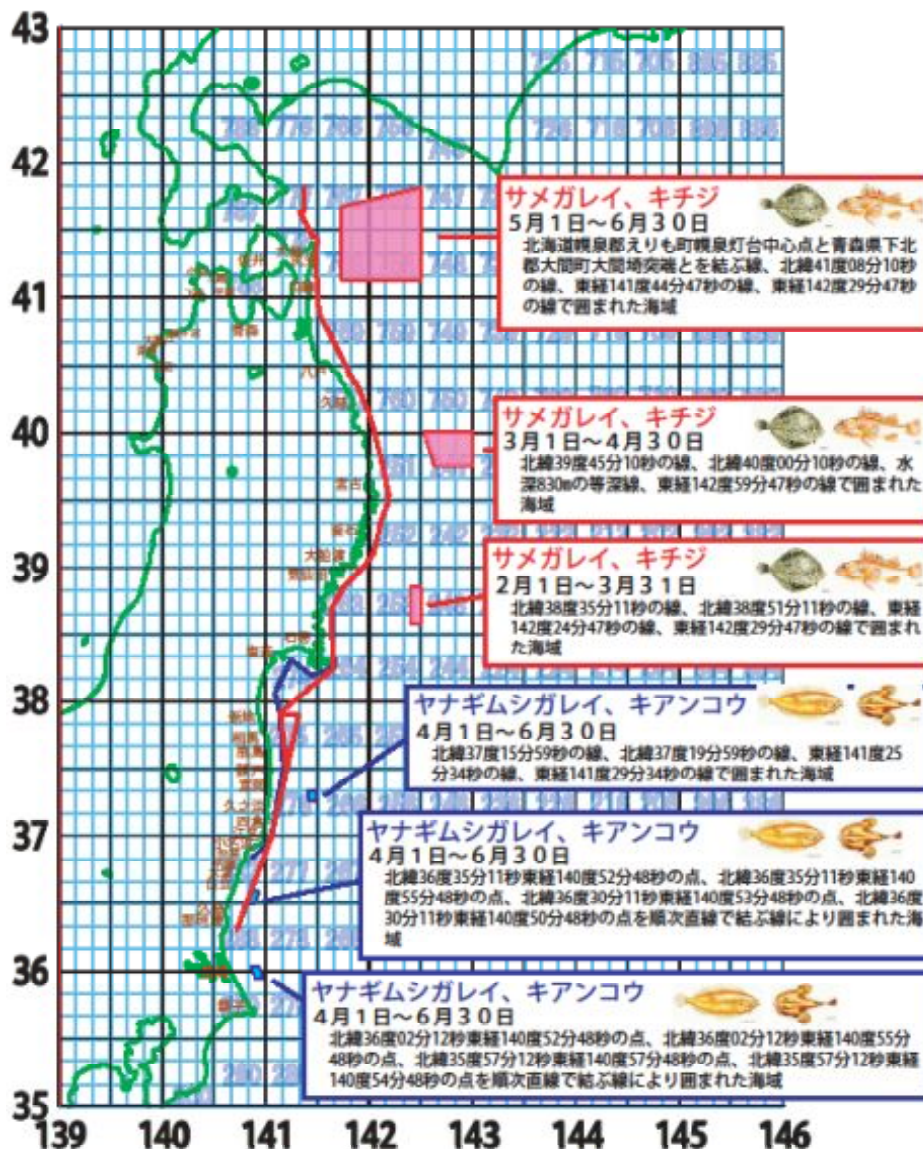
太平洋北部沖合性カレイ類資源回復計画に係る保護区Ⅲの取扱いについて

(概要)

宮城県の沖合底びき網漁業は、東日本大震災後、放射能や瓦礫の影響により漁場の確保に困窮していることから、平成23年度に限り保護区Ⅲを漁場として利用する。

なお、保護区Ⅲの利用にあたっては、サメガレイ、キチジの資源状況等の把握のため、保護区Ⅲでの漁獲情報の報告を求め、この報告を踏まえて、今後の取扱いを検討する。

(保護区図)



← 保護区Ⅲ

事 務 連 絡
平成 2 4 年 2 月 2 2 日

太平洋北部沖合性カレイ類資源回復計画
関係県 資源管理担当者 様
関係漁業者団体 御中
(独)水産総合研究センター東北区水産研究所 御中

水産庁資源管理部管理課
水産庁仙台漁業調整事務所

太平洋北部沖合性カレイ類資源回復計画に係る保護区Ⅲの取扱いにつ
いて

このことについて、平成 2 4 年 2 月 2 1 日付け 2 4 全底連第 1 6 号にて、
社団法人全国底曳網漁業連合会より、宮城県沖合底びき網漁業協同組合が、
東日本大震災後、放射能や瓦礫の影響により、漁場の確保に困窮しているこ
とから、太平洋北部沖合性カレイ類資源回復計画に基づく宮城県沖の保護区
Ⅲ（設定期間：毎年 2 月 1 日～ 3 月 3 1 日）について、漁場として利用した
い旨要望がありました。

そこで、この保護区Ⅲを漁場として利用することについて、今般、関係県
及び関係漁業者団体の御理解を得て、平成 2 4 年 3 月 3 1 日までの間、宮城
県沖合底びき網漁業協同組合所属の漁船が操業を行うこととなりましたので、
お知らせいたします。

また、今般の保護区Ⅲの取扱いについては緊急避難的な措置とし、今後の
取扱いについては、改めて関係者間で議論していくこととします。

なお、本件については、平成 2 4 年 3 月 1 6 日開催予定の太平洋広域漁業
調整委員会にて報告させていただきます。

水産庁資源管理部管理課資源管理推進室

担 当： 鏑木、佐々木、山本

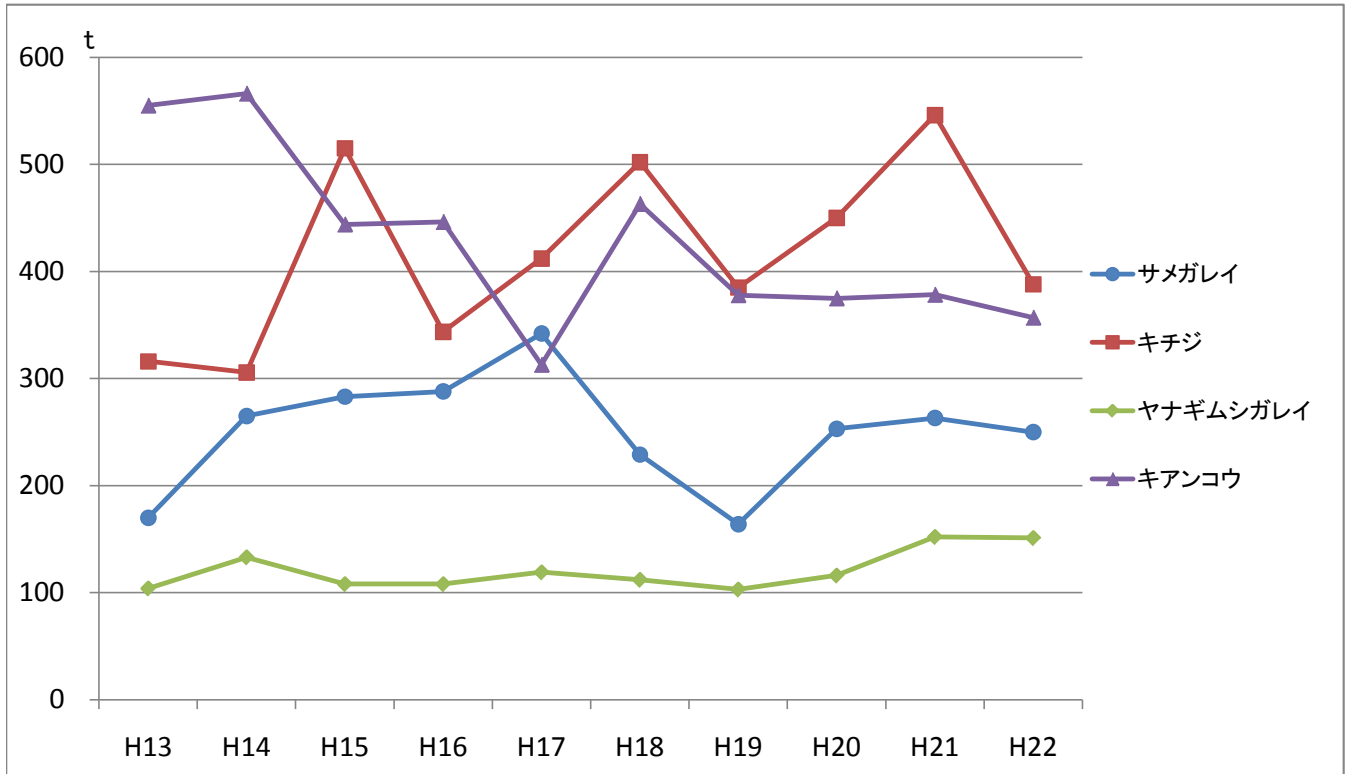
電 話： 0 3 - 6 7 4 4 - 2 3 6 1

水産庁仙台漁業調整事務所資源課

担 当： 佐澤、猪狩、木村

電 話： 0 2 2 - 2 9 1 - 2 7 7 4

対象4魚種の漁獲量の推移



対象魚種 (水準・動向) {注1}	漁獲量(単位: t) {注2}										
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23 {注3}
サメガレイ (低位・横ばい)	170	265	283	288	342	229	164	253	263	250	165
キチジ (中位・増加)	316	306	515	344	412	502	385	450	546	388	384
ヤナギムシガレイ (高位・増加)	104	133	108	108	119	112	103	116	152	151	67
キアンコウ (中位・減少)	555	566	444	446	313	463	378	375	378	357	124

注1: 水準・動向は「H24年度漁業資源評価」による。

注2: 漁獲量は沖合底びき網漁業を除く各県調べの漁獲量データに、沖合底びき網漁業の漁獲成績報告書のデータを加えたもの。(平成16年以降は暫定値)

注3: H23年の漁獲データは集計中である。

太平洋北部海域の資源管理に関する漁業者協議会等の開催実績 (平成23年11月以降)

開催年月日	会議名等	参加者	内容
H24. 1. 31	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (岩手県底曳網漁業協会)	漁協、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括(案)の概要及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 2. 2	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (八戸みなと漁業協同組合)	漁業者、漁協、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括(案)の概要及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 2. 3	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (宮城県小型機船底曳網漁業協同組合)	漁業者、漁協、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括(案)の概要及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 2. 13	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (千葉県機船底曳網漁業協同組合)	漁業者、漁協、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括(案)の概要及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 2. 15	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (宮城県沖合底びき網漁業協同組合)	漁業者、漁協、全底連、水産庁	資源回復計画の評価・総括(案)の概要及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 2. 16	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (八戸機船漁業協同組合)	漁業者、漁協、全底連、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括(案)の概要及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 2. 24	資源管理にかかる漁業者との意見交換会(第2回) (宮城県沖合底びき網漁業協同組合)	漁業者、漁協、水産庁	太平洋北部沖合性カレイ類資源回復計画に係る保護区Ⅲの取扱いについて
H24. 2. 27	平成23年度太平洋北部海域の資源管理にかかる行政・研究担当者会議(第2回)	関係県行政・研究、(独)水産総合研究センター、水産庁	広域資源回復計画の評価・総括及び平成24年度以降の資源管理実施体制等について
H24. 7. 10	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (茨城県底曳網漁業協議会)	漁業者、漁協、県行政・研究、水産庁	資源回復計画の評価・総括の概要及び資源管理の取り組み状況等について
H24. 7. 17	平成24年度太平洋北部海域の資源管理にかかる行政・研究担当者会議(第1回)	関係県行政・研究、(独)水産総合研究センター、水産庁	北部太平洋海域における資源管理の状況及び北部太平洋海域における広域的な資源管理の今後のありかた等について
H24. 7. 20	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (岩手県底曳網漁業協会)	漁業者、漁協、県行政・研究、(独)水産総合研究センター、水産庁	資源回復計画の評価・総括の概要及び資源管理の取り組み状況等について
H24. 8. 8	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (福島県機船底曳網漁業組合連合会)	漁業者、漁協、県行政・研究、水産庁	資源回復計画の評価・総括の概要及び資源管理の取り組み状況等について
H24. 8. 20	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (宮城県小型機船底曳網漁業協同組合)	漁業者、漁協、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括の概要及び資源管理の取り組み状況等について
H24. 11. 2	資源管理にかかる漁業者との意見交換会 (宮城県沖合底びき網漁業協同組合)	漁業者、漁協、県行政、水産庁	資源回復計画の評価・総括の概要及び資源管理の取り組み状況等について